

令和5年(2023年)9月

総務委員協議会資料

危機管理部 危機管理政策課

案 件

・ 防犯灯に係る補助制度の一部見直しについて

1. 政策等の背景・目的及び効果

犯罪の防止や通行の安全を守る重要なインフラであり、地域防犯活動を担う自治会等が設置・管理する防犯灯について、本市では、平成25年度(2013年度)から29年度(2017年度)にかけて、消費電力の削減による電気料金や環境負荷の低減等を図るため、蛍光灯等からLED灯への変換に対し補助を行う防犯灯LED化事業を実施しました。

また、令和4年度(2022年度)にはLED化した防犯灯が適正交換時期の10年目を順次迎えることから、これまで新設や電気料金のみを対象としていた補助制度を見直し、LED防犯灯の取替・修繕についても補助メニューに加えたところです。

この新たな補助制度を運用する一方で、現在も蛍光灯の防犯灯が存在することが判明したことから、令和5年(2023年)4～6月に全自治会等へアンケートによる現状調査を行ったところ、市内において蛍光灯及び水銀灯の防犯灯(約250灯)が地域で維持管理されていることが確認されました。

この結果を受け、電気料金や環境負荷の低減、LED化に係る自治会等の負担の公平性を図る観点から、蛍光灯等の防犯灯のLED化を補助対象とする補助制度の一部見直しを行い、さらなる防犯灯LED化の促進を図り、安全安心なまちを維持向上させるものです。

2. 内容（制度概要案）

（1）方針

現行のLED防犯灯補助制度に、新たに蛍光灯及び水銀灯の防犯灯をLED化するための補助メニューを加えます。

（2）追加する補助対象等

《LED化補助》

補助対象：市内に現存する自治会等が管理する蛍光灯及び水銀灯の防犯灯。

なお、防犯灯のLED化を促進させる観点から、故障していない防犯灯についても補助対象とします。

補助額：蛍光灯及び水銀灯の防犯灯をLED化する費用に対して、予算の範囲内で、1灯あたり22,000円を上限に補助します。

※補助制度の新旧比較表は、P6の参考資料のとおりです。

（3）補助に関する要項等

LED化されていないことが確認された防犯灯を補助対象として、9月補正予算議決後、補助に関する要項や基準の一部を改定し、全自治会等へのアンケート調査の実施開始月にあわせた令和5年(2023年)4月1日から制度を適用する予定です。

(4) 制度の周知方法

令和5年(2023年)10月開催予定の枚方市防犯協議会臨時総会にて、各支部への周知・説明を行います。

(5) 今後の課題と取り組み

当該事業には多額な費用が見込まれるため、これまでから活用してきた枚方市安心安全基金及び企業版ふるさと納税を含め、引き続き、財源確保の手法について検討を進めます。

また、今回の追加分に係る補助の灯数配分等、予算配分については、令和5年度は設置工事等を実施できる期間が短いことを考慮し、基本的には令和5年度から6年度までの2か年で、予備を含む約280灯(約620万円)のLED化を補助するものとします。

3. スケジュール等

令和5年(2023年)9月 総務委員協議会への報告

10月 9月定例会議会補正予算案提出

委託変更契約(防犯協議会) ⇒ 申請受付開始

4. 総合計画における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 安全で、利便性の高いまち

施策目標3 暮らしに身近な安全が確保されたまち



5. 関係法令・条例等

枚方市生活安全条例

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費・財源》 2,420 千円 【令和5年度(2023年度)9月定例会議会補正予算】

支出内訳 防犯対策事業経費 防犯対策事務委託料(枚方市防犯協議会)

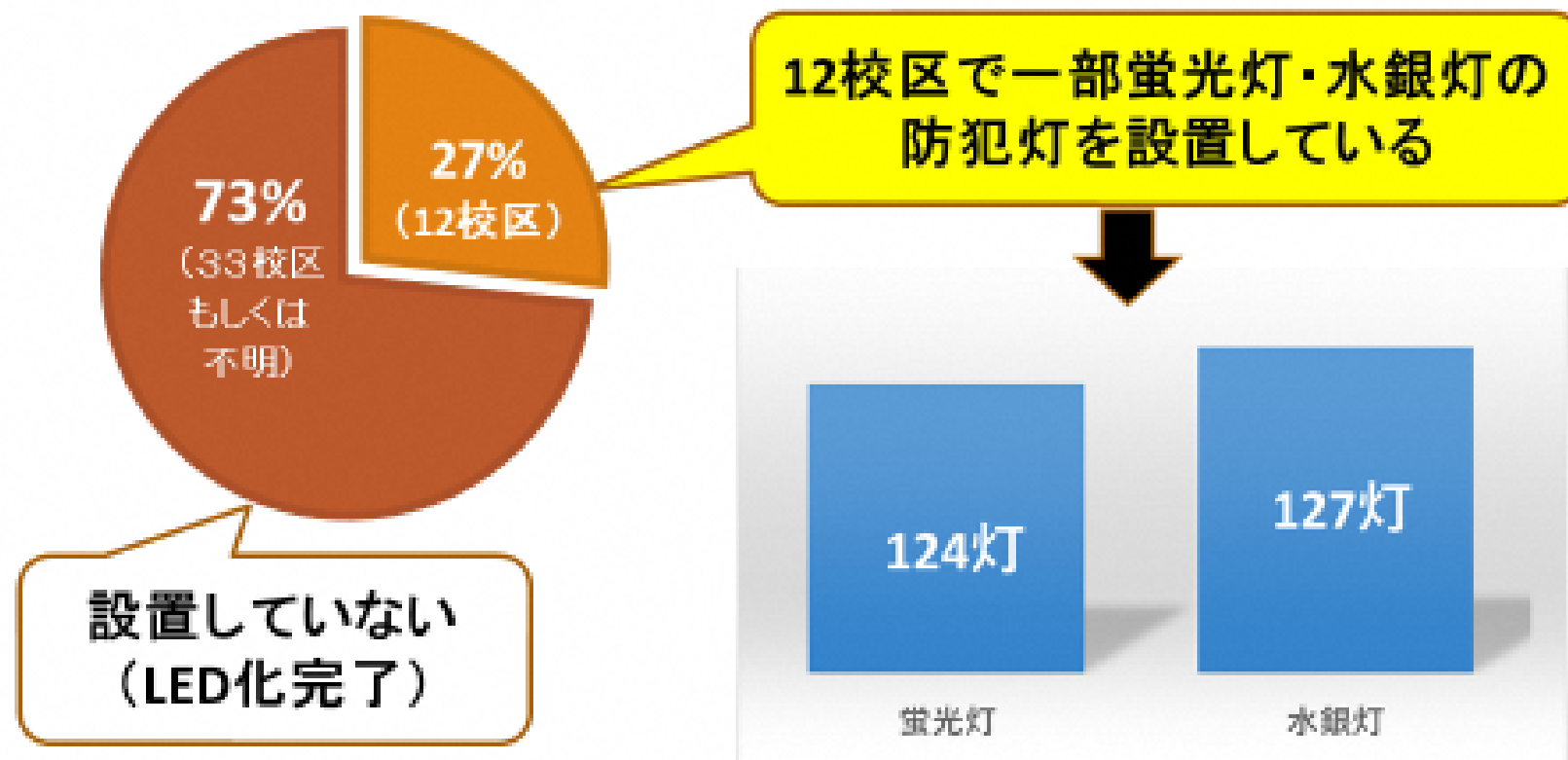
LED防犯灯新設等補助金 LED化補助(110灯):2,420 千円

財源内訳 特定財源:2,420 千円(枚方市安心安全基金及びまち・ひと・しごと創生基金を充当)

自治会等へのアンケート結果

参考資料

Q. 蛍光灯・水銀灯の防犯灯の設置状況について



枚方市内で約250灯の防犯灯がLED化未実施

補助制度の概要(新旧比較表)

		現制度		新制度(案)	
補助項目	適用	要件等		適用	要件等
LED化 【蛍光灯・水銀灯 →LED】	—	—		⊕	1灯上限:22,000円
取替 【LED→LED】	○	1灯上限:22,000円		○	変更なし
修繕	○	1灯上限:5,000円×3灯分 ※明暗センサー交換のみ		○	変更なし
新設	○	1灯上限:30,000円×2灯分 【加算】専用柱上限:6万円×1本分		○	変更なし
電気料金	○	(LED) 10w/(蛍光灯)40w		○	変更なし